

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部

令和三年度十二月 入賞句一覧 投句数 六百 句



持選

長野 美代子 選

翔つ鳥のはばたきの音 朴落葉 大垣市 高田 雅章

美しい朴の花も散り、真つ青な大きな朴の葉もいつしか枯れ、風に音を立てて
いる秋へと季も変わり、鳥も美しい声で秋を楽しんでいる。翔つ鳥の音に合わせ
て朴の葉のからからと落ちてゆく。静かな秋の日がよくわかる秀句ですね。

街並みは精緻な切り絵 冬夕焼 本巢市 小泉 裕子

私は池田山の中腹にある道が大好きです。目の前に広がる美濃平野が、まるで
地図を見ているようで、おもちゃの車が走り人々の暮らす様子が地図を切り取っ
たようです。時には、大きな雲の影も行きます。季語が良いですね。

垂れこめて動かぬ雲の師走かな 大垣市 坪井 克枝

どんよりとした師走の日々が目に浮かびます。冬らしい景が上手に表現してあ
り、忙しいのでそんな空を見ない人もあるでしょうね。

秀逸

山眠り匂ふばかりの星明り 大垣市 神野 武彦

縄張りか声高くして二羽の鴟 大垣市 米山 春江

閃きに似て一隅の照葉かな 岐阜市 花川 和久

じゃれ合ふて跳ねて転ぶや寒雀 大垣市 伊藤 英司

大根煮ることごとと鍋喋りたる 大垣市 傍島 隆

小春空テニスボールの軽き音 安八郡安八町 渡辺 聖羅

鈍色に山脈隠し片時雨 大垣市 遠藤 加容子

空間といふ静けさや冬木立 大垣市 鶴田 信子

鋏の音師走の空へ庭師かな 大垣市 岡田 あや子

稲架解かれほつと息づく湖ほとり 大垣市 白井 秀子

入選

冬の空見上げて句を詠む生徒かな

愛知県豊橋市

森田 悠一

気ままなる猫との余生漱石忌

埼玉県川口市

吉永 寿美子

金生山のみを照らして片時雨

大垣市

高木 恵理

傷多きほど遅しく榎櫃の実

大垣市

田口 貞善

対岸を白く煙らせ片時雨

京都府京都市

八田 弥須子

石段をコロコロコロと木の実かな

不破郡垂井町

竹嶋 富美子

喪の夜や静寂の中の虎落笛

養老郡養老町

佐藤 咲楽

咲きて散り散りて咲きたる薺椿

揖斐郡大野町

豊田 美見

届きたる野菜あれこれ初しぐれ

大垣市

樋口 絹子

ゆるゆると廻る石臼走り蕎麦

大垣市

田中 雅子

落葉舞ふ時にはげしく狂うかに

大垣市

新町 恵子

光り初む初霜を置く野菜畑

養老郡養老町

田中 紫香

割烹着まだつけたまま大晦日

養老郡養老町

山田 順子

凍蝶のゆるりと羽根を納めけり

大垣市

平野 きぬよ

継ぐ者のなき家磨く歳の暮

大垣市

安田 むっこ

庫裡窓のてらてら光る柿簾

不破郡垂井町

北村 廣美

鴨群るる湖の落日大きかり

不破郡垂井町

西田 厚堂

綿虫の飛びはゆるやか里暮るる

大垣市

後藤 喜美男

川靄の立ちし噴流葱洗う

不破郡垂井町

西垣 和志

冬夕焼小舟の水脈の瀬戸の海

大垣市

北村 陽子

選者吟

荒彫りの円空細き目よ小春

美代子

一般の部

